

富士山火山三県合同防災訓練2014

御殿場市畑岡会場訓練概要

2014. 9. 12

危機管理部危機対策課

2 訓練目的と訓練項目

<目的> 富士山火山広域避難計画の検証

<項目>

		訓練項目	内容
①	御殿場市	避難行動要支援者の搬送訓練	・民間バスによる避難行動要支援者の搬送
②		自家用車による住民避難訓練	・各地区の集合場所へ自家用車で参集し、決められた避難ルートにて避難
③		住民避難状況を上空から確認	・市長が住民避難等の状況を上空から確認
④		逃げ遅れた避難者に対する緊急措置	・消防団と自衛隊が連携し、自衛隊車両にて逃げ遅れた避難者の捜索、輸送
⑤	静岡県	富士山火山噴火に関する啓発	・パネル展示、動画放映(DVD) ・家庭内対策、火山防災グッズ等展示
⑥		火山噴火状況の航空偵察	・県知事他が噴火状況を上空偵察し、同乗する有識者が助言を行う
⑦	中部地整	火山災害に関する啓発	・パネル展示等
⑧		火山災害に関する緊急調査及び応急対策	・リアルタイムハザードシステムによる情報提供 ・道路啓開 ・土砂災害緊急情報の提供(降灰量調査) ・緊急ハード対策工(堆積工・導流堤)

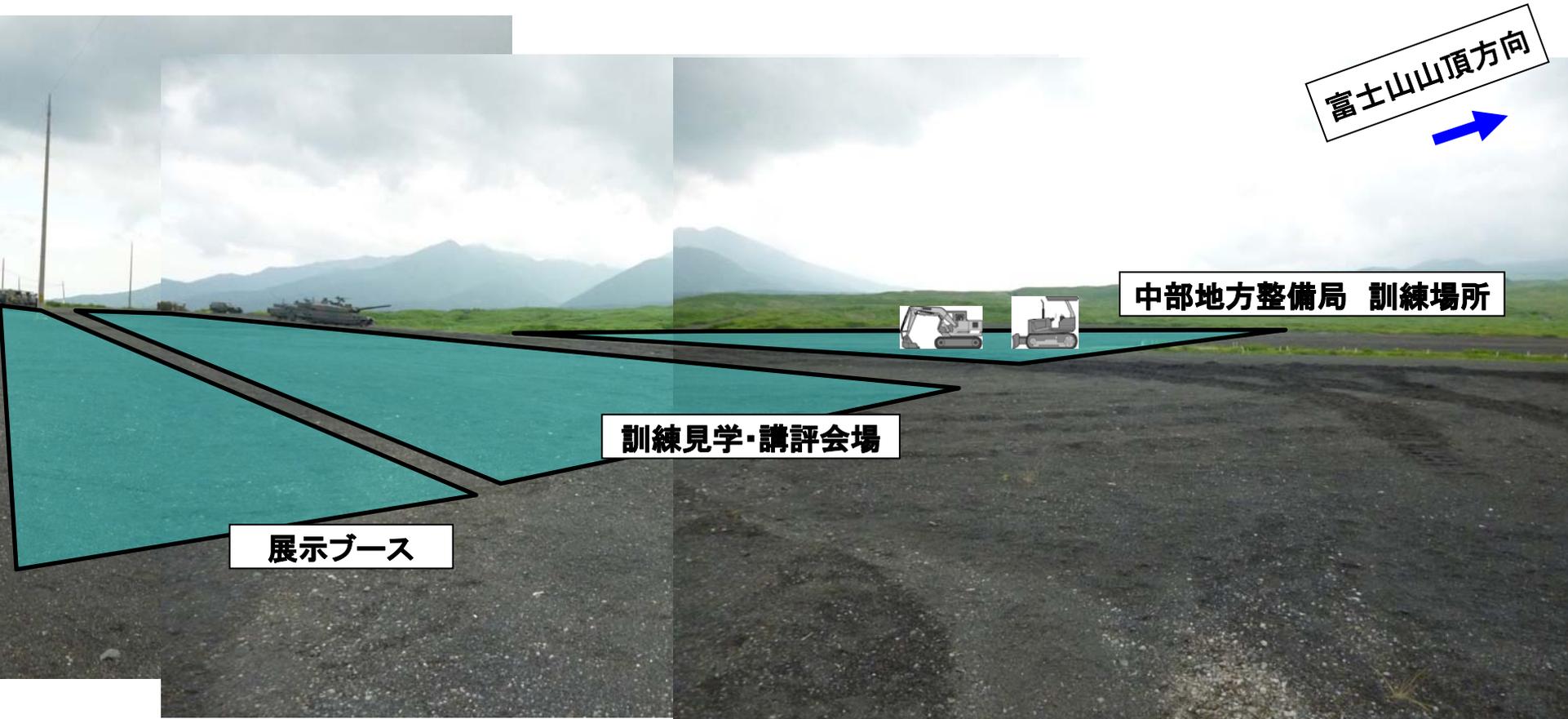
3-1 御殿場市畑岡会場位置図

避難対象： 御殿場市印野地区(一般住民及び避難行動要支援者)



3-2 御殿場市畑岡会場写真

畑岡会場



3-3 御殿場市畑岡会場配置図

畑岡会場レイアウト図(案)



4-1 ①避難行動要支援者の搬送訓練(御殿場市)

状況:噴火警戒レベル5

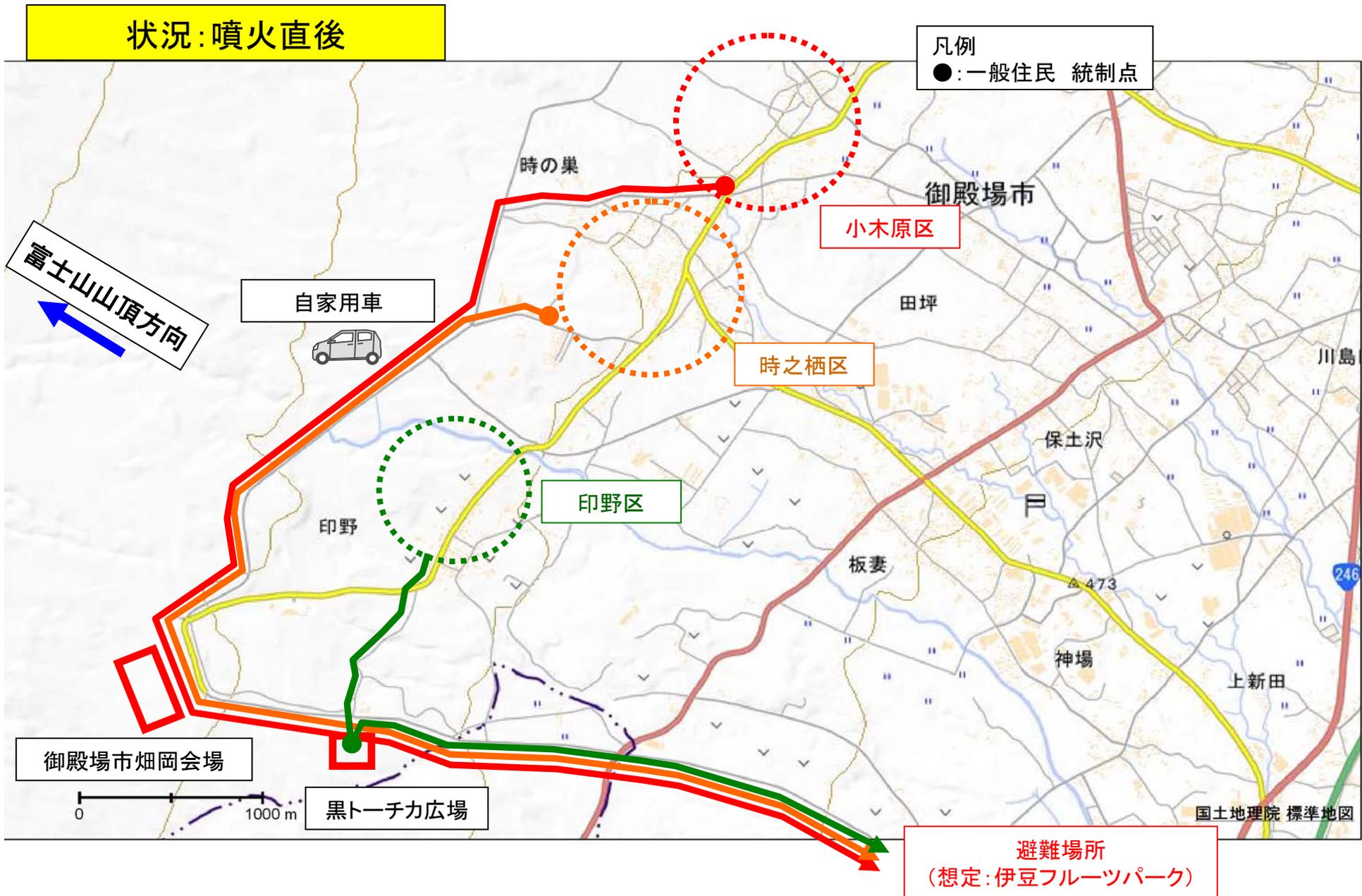
凡例

●:避難行動要支援者 集合・乗車場所



4-2 ②自家用車による住民避難訓練(御殿場市)

状況:噴火直後



4-3 ⑤火山噴火に関する啓発

展示ブースにてパネル展示や家庭内対策等の啓発を行う。

県②火山現象と影響する範囲 - 1 -

火口形成、火砕流、大きな噴石、溶岩流

避難対象エリアは、各現象による危険が迫ることに拡大していきます。

避難対象エリア	説明	避難のタイミング※	避難範囲
影響想定範囲	可能性マップの示す範囲（火口形成、火砕流、大きな噴石、溶岩流）		
第1次避難対象エリア	想定火口範囲	噴火前 （噴火警戒レベル4発表時）	全範囲 （全方位避難）
第2次避難対象エリア	火砕流、大きな噴石、溶岩流（3時間以内）到達範囲	噴火前 （噴火警戒レベル5発表時）	全範囲 （全方位避難）
第3次避難対象エリア	溶岩流（3時間～24時間）到達範囲	噴火後 （溶岩流の流下の進展による）	対象ラインのみ （ライン避難）
第4次A避難対象エリア	溶岩流（24時間～7日間）到達範囲	噴火後 （溶岩流の流下の進展による）	対象ラインのみ （ライン避難）
第4次B避難対象エリア	溶岩流（7日間～約40日間）到達範囲	噴火後 （溶岩流の流下の進展による）	対象ラインのみ （ライン避難）

※一般住民の避難タイミング



○静岡県

- パネル展示 5枚程度
- DVD放映
- 家庭内対策、火山防災展示（体感コーナー）

○気象庁

- パネル展示 10枚程度

○国交省 中部地方整備局

- パネル展示 20枚程度

パネル展示の一例

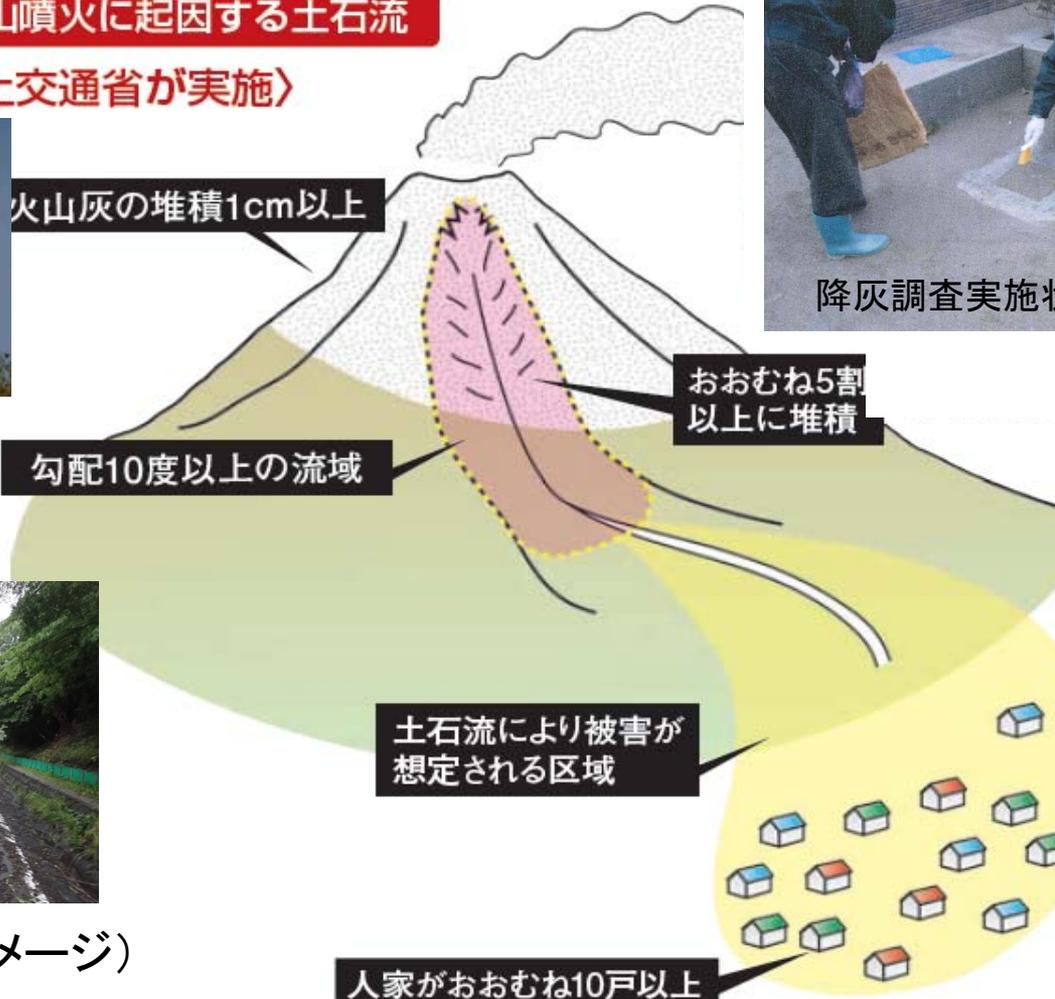
4-4 ⑦火山災害に対する啓発及び⑧火山災害に関する応急対策

○緊急調査(土砂災害防止法に基づく緊急調査)

- ・河川の勾配が10度以上である区域のおおむね5割以上に1cm以上の降灰等が堆積した場合
- ・おおむね10戸以上の人家に被害が想定される場合

火山噴火に起因する土石流

〈国土交通省が実施〉



○緊急情報の提供



○緊急ハード対策



○道路啓開(イメージ)

○リアルタイム火山ハザードシステムによる情報提供